

しろやま



城山病院は患者さまのために存在します

2023年3月号

医療法人春秋会 城山病院

大阪府羽曳野市はびきの2-8-1

TEL 072-958-1000

編集・発行 情報システム課

Vol. 69



SPECIAL

初期臨床研修医に聞く 城山病院を選んだ理由



(左から)
研修医 山口 泰幸医師
東野 健医師
研修医 安原 成宣医師
研修医 尹 ハンソル医師
(2年目)

医師国家試験に合格した医師は、その後、臨床研修が義務付けられています。内科、外科、救急外来などの診療を2年間行い、基本的な診察力を養成します。城山病院では毎年2名の研修医を受け入れています。昨年4月から赴任した山口医師(富山大学出身)と安原医師(近畿大学出身)に話を聞きました。

初期臨床研修に城山病院を選んだ理由は？

山口医師「城山病院は診療科のセンター化のさきがけとも言えます。そのため、患者様への治療の流れが効率的です。さらには各センターの枠を超えて治療を行う場合も多いなど、その体制に魅力を感じました。また、一般的な疾病を多く扱う地域密着型の病院であることや、指導医が多いことが城山病院を選んだ決め手です」。

安原医師「南河内地区の急性期病院のため、患者様の治療は短期間になりますが、その分、中身が濃く、数多く体験できると思いました。また、初期臨床研修では一般的な疾病について学びたかったので、市中病院を選びました」。

実際に赴任していかがですか？

山口医師「一番初めに敗血症の患者様を担当し、机上で学んだだけでは不足している部分が多いことを痛感しました。幸い、その患者様は回復されましたが、どんな時でも患者様の治療にあたらなければいけないという医師の使命を心に刻みました。また、薬剤の投与の仕方もマニュアル通りではなく、患者様一人ひとりにあった方法があるということを学んでいます」。

安原医師「大学での実習はコロナ禍のためほとんど実施でき

ず、今は診断、治療、そして患者様とのコミュニケーション力をつけるために努力しています。また、病棟での経験も初めてで、多職種のスタッフが関わっていることに改めて驚いています」。

将来の夢は？

山口医師「医学部には社会人になってから再入学しました。会社員の時に東日本大震災があり、石巻市にボランティアで1週間滞在しました。その時、医師が被災者の心の支えになっているのを見て、医師を目指す決心をしました。将来は外傷救急外科医を目指します」。

安原医師「医師を目指した理由は、浪人時代に不整脈治療を受け、その時の主治医が素晴らしかったからです。彼のように患者様をカッコよく治療し、不安な気持ちを吹き飛ばすような医師が目標です」。

東野先生から

先日、大阪府より臨床研修病院としての研修体制についての視察がありました。研修医の先生方への面接もあり、非常に厳しい審査でしたが、見事クリアしました。

また、医療は24時間体制でなければなりません。当直もあり、医師の勤務時間は自然と長くなります。私が研修医の時は1週間以上、泊まり込みということも多くありましたが、現在、日本では、働き方改革が進み私たちが働き始めた時と大きく違いが出てきました。医療現場でも、より医師が働きやすい環境が構築されようとしています。

城山病院では、先輩後輩の先生方が和気あいあいと、医師という仕事に打ち込んでいます。今後の研修医のみなさんの活躍が非常に楽しみです。

城山病院 臨床研修医Instagramは、
こちらのQRコードからご覧ください。



ロボット手術センター ロボット支援下手術症例 件数報告



2023年 城山病院 ロボット手術センター開設 da Vinci Xi/ダ・ヴィンチ

2023年1月・2月の症例実績

2023年1月 8症例

2023年2月 8症例

2023年2月現在、16症例のダヴィンチ手術を行いました。

2023年1月よりロボット手術センターを開設。ロボットセンターでは、常に最先端医療を提供するため、医師をはじめ、看護師、臨床工学技士、多職種内でチームとして連携出来るように早い段階から準備を行い、万全の体制でダヴィンチ手術が行える環境を構築しております。ダヴィンチを使った手術は、精密な動作で制限なく、さらに安全な手術を行えるようになり、低侵襲な手術で傷口が小さく痛みが少ないので、早期の社会復帰が可能です。手術対象の診療科は、消化器外科と泌尿器科で、疾患については、胃癌、直腸癌、結腸癌、肝臓癌、腎癌、前立腺癌などになります。

また、**南河内医療圏 羽曳野市では初の消化器外科領域、特に大腸がん**でロボット支援下手術が可能となり、ロボット手術という高度医療を地域でも提供できるようになりました。詳しくは病院ホームページ、がん相談支援室にまでご連絡ください。



ロボット手術
センター

城山病院がん化学療法 薬薬連携研修会

2023年2月14日(火)に薬薬連携会が開催されました。前回に引き続きオンラインで開催し、2施設25名の方に参加して頂きました。第1講演は、湊本麻莉薬剤師による抗がん剤の副作用について話になりました。薬の特徴や最新のガイドラインの内容も交えて、実際に当院で使用されている予防薬や治療薬についての講義で、調剤薬局の薬剤師さんにとっても知識を深める機会となったと思います。第2講演は、乳腺外科の松谷歩医師より、乳がん治療のアルゴリズムから治療薬の選択についての話を、第3講演では消化器・乳腺センター 新田敏勝医師より人生会議(ACP)の意義や必要性、緩和ケアチームから始まる地域連携について話をして頂きました。

当院では地域の薬局と連携を図り、質の高いサポートが提供できるよう2020年より薬薬連携勉強会を立ち上げております。薬薬連携の研修会は、定期的に行なわせて頂き、地域の薬剤師の方と連携を図り、治療にあたる医師やチーム医療に携わる医療従事者と研修を行っております。南河内で活躍されている薬剤師の方に参加頂き、一緒にスキルアップできればと考えております。

また、当院で診察に来られている患者様におかれましては、お薬のご質問などございましたら城山病院 薬剤科までご相談ください。



泌尿器科 常勤医師 入職のご案内



泌尿器科 副部長
松永 知久

	午前	午後
月	○ (受付11:30迄)	-
火	-	-
水	-	★○(予約検査)
木	-	-
金	-	★○(予約検査)

★→予約のみ診察

令和5年2月より、泌尿器科 松永先生が入職されました。
受付時間は、月曜日から金曜日の午前 8:30~12:00、
午後12:50~15:30になります。
※外来担当については、令和5年2月現在の情報になりますので
ご注意ください。

栄養科 もうすぐ春ですね！

城山病院では、患者様に季節に合わせた食事を提供させて頂いております。写真のお食事は、昨年の3月3日に提供させて頂いた行事食で、ひな祭りという事もあり、ちらし寿司を提供させて頂きました。今年も提供させて頂く予定をしております。また、栄養科では調理動画を城山病院のホームページで公開しております。肥満や生活習慣病を意識した食事や食欲不振の時に食べやすい食事を掲載しておりますので、そちらも見てください。



栄養科ホームページ

